



# 尾久西だより

荒川区立尾久西小学校  
発行日 平成29年10月1日  
発行者 校長 末永 寿宣

No. 319 10月号

## 「心のふるさと」北海道広尾町

～ダイナミックな体験と漁師さん家族の心に触れて～ 校長 末永 寿宣

### 尾久西小学校の教育の基本理念

「何があってもへこたれない子に育てる。子供におもねるのではなく、子供たちの可能性を見極め、可能性を伸ばすことをいつも念頭に置いて、子供を育てる。」この理念を実現するため、校内外での体験学習を重視しています。子供たちが直接体験することにより、自ら気づき、考え、行動できるたくましい子供に育てることが、私たち大人の役目であると考えています。

### 農山漁村ホームステイ交流

昨年から引き続き、今年も5年生が、自然あふれる北海道広尾町での農山漁村ホームステイ交流を体験することができました。関係の皆様にご心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

広尾町で体験した生活スタイルは、生活のリズムも出される料理も、漁師さんの仕事も子供たちにとって、非日常的で驚くことばかりです。今年は、広尾町立広尾小学校の5年生とも交流できました。また、地震津波避難想定訓練にも参加し、2泊3日の短い期間でしたが、刺激的でダイナミックな体験となりました。

### 地元生まれ地元育ち

尾久西小学校がある西尾久地区は、東京都の下町を代表する地域です。親の代から尾久西小学校に通う家庭も多く、地元生まれ地元育ちの子供たちがほとんどです。この地域は、昔から人情味にあふれ、みんなで声掛けし子供たちを育てる気風があります。また、子供たちを取り巻く環境は、隣の家と壁、電車のホームのライン、細かなルールや人間関係など、何をするにも一定の枠があります。それが当たり前のことと考えていました。一方、広尾町には、全く異なる風景が広がっていました。広い道路、信号機のない交差点、離れた隣家、果てしない空、潮の香りなどです。共通する点もありました。それは漁師さんご家族の温かな人柄です。

### 漁師さんご家族

子供たちは、地元漁師さんの家に班ごとにホームステイの形でお世話になり、お手伝いをしながら、漁師さん家族の心に触れて、まるで家族の一員になったような時間を過ごすことができました。漁師さんご家族は、子供たちを大きな心で受け入れてくださいました。子供たちたちの目線で話をし、笑い、時には厳しく叱ってくださいました。今回、漁師さんたちの姿を通し、子供たちが経験できたことは、これから生きていくうえで、何があってもへこたれない大きな自信へとつながったことでしょうか。親も先生もいない環境の中で、友達同士で2泊3日生活したことにより、協力し助け合うことの大切さを学んだと思います。そして、期間中一生懸命おもてなしをしてくれた漁師さん家族の心に触れて、感謝する心の大切さも感じたはずです。3日間お世話になった漁師さん家族に対する感謝の思いが、退村式での涙にあらわれました。子供たちにとって、今年も広尾町は第二のふるさと、心のふるさととなりました。



広尾町



▲昆布干しの手伝いをする子供たち

荒川区広報課による密着取材の詳細が、下記のホームページに掲載されています。是非ご覧ください。 <https://www.city.arakawa.tokyo.jp/kusei/koho/hodohappyo/20170913.html>

